

「表4.6.1-1 資格喪失届・70歳以上被用者不該当届
データレコード(年金事務所提出)の項目説明」の変更点

※赤文字部分が修正箇所です。

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード	数字	7	「2201700」を設定する	ア
2	事業所 整理 記号	都道府県 コード	数字 2	都道府県コードは巻末の参考資料3「都道府県コード一 覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字 2	また、「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されて いる事業所整理記号の上2桁を郡市区符号に、上2桁以 外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ 1～4	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「01-ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ケイト」と設定する	エ
5	事業所番号	数字	1～5	「納入告知書 納付書・領収証書」に記載されている 事業所番号を設定する (例) 事業所番号が「123」の場合、 「123」と設定する	オ
6	被保険者 整理番号	数字	0～6	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」 の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定す る (例) 被保険者整理番号欄に記載されている 番号が「6」の場合、「6」と設定する ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場 合は省略するが、項番27のただし書きのケースに該当 する場合は一律「999999」を設定する。	カ
7	被保険者氏名 (カナ)	カナ	1～25	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後 に半角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「ネンキン エイチ」の場合、 「ネンキンエイチ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K エイチ」の場合、 「ネンキンケイエイチ」と設定する	キ

項番	項 目 名		種別	文字数	設 定 内 容	作成例
8	被保険者氏名 (漢字)		漢字	0 ～ 1 2	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する (例) 被保険者氏名が「年金 英一」の場合、 「年金△英一」と設定する 被保険者氏名が「年金 K 英一」の場合、 「年金△ケイ△英一」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「3. 4 コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め12文字を超える場合	㊴
9	生 年	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	㊵
10	月 日	年月日	数字	6	生年月日(和暦)を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 昭和40年5月6日の場合、 「400506」と設定する	㊶
11	個人番号		数字	0, 1 2	個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	㊷
12	基 礎 年	課所符号	数字	0, 4	個人番号を入力した場合は省略してよいが、個人番号が空欄の場合は必須入力とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上4桁を課所符号に、下6桁を一連番号に分けて設定する	㊸
13	金 番 号	一連番号	数字	0, 6	(例) 基礎年金番号が「0123-012345」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	㊹

項番	項 目 名		種別	文字数	設 定 内 容	作成例	
14	資格喪失年月日	元号	数字	0, 1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」 ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は省略するが、項番27のただし書きのケースに該当する場合は資格喪失日を設定する。	ㇼ	
15		年月日	数字	0, 6	資格喪失年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する 資格喪失年月日は、以下のいずれかの年月日を設定する ・被保険者が退職または死亡した場合、退職または死亡した翌日 ・被保険者が転勤した場合、転勤した当日 ・被保険者が75歳に達した場合、75歳の誕生日の当日 ・一定の障害に該当し広域連合の認定を受け、後期高齢者医療の被保険者になった場合、その障害認定日 (例) 令和1年5月7日の場合、 「010507」と設定する ※被保険者が70歳に達した場合における厚生年金保険の資格喪失届・70歳以上被用者該当届は、「被保険者資格喪失届・70歳以上被用者該当届〔70歳到達届〕」により提出してください ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は省略するが、項番27のただし書きのケースに該当する場合は資格喪失日を設定する。	ㇽ	
16	喪失(不該当)原因		数字	1～2	以下の喪失原因に対応する数字を設定する ・退職等 : 「4」 ・死亡 : 「5」 ・75歳到達（健康保険のみ喪失） : 「7」 ・障害認定（健康保険のみ喪失） : 「9」 ・社会保障協定 : 「11」	ㇾ	
17	喪失（不該当）原因	退職日	元号	数字	0, 1	喪失（不該当）原因が「退職等」または「死亡」の場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ㇿ
18		死亡日	年月日	数字	0, 6	喪失（不該当）原因が「退職等」または「死亡」の場合に、退職した日、死亡した日、転勤した日、雇用契約変更のあった日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する (例) 令和1年5月7日の場合、 「010507」と設定する	㏀

19	備考欄項目1	数字	0, 1	二以上事業所勤務者の資格喪失の場合は「1」を設定する	㊞
20	備考欄項目2	数字	0, 1	退職後の継続再雇用者の資格喪失の場合は「1」を設定する	㊟

次ページへ続く

項番	項 目 名		種別	文字数	設 定 内 容	作成例
2 1	備考欄		漢字	0 ～ 3 7	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する ・ 転勤や雇用契約の変更による喪失の場合はその旨設定する ・ 被保険者資格取得届を提出したが、年金事務所等から確認通知書などが送付される前に資格喪失した場合は、「資格取得届提出中」と設定する ・ 厚生年金基金の加入員である被保険者が資格取得した同月に資格を喪失する場合は、「加入員の同月得喪」と設定する ・ 項番27のただし書きのケースに該当する場合は「70歳以上被用者のみ提出」と設定する。	㊦
			数字 英字 カナ	0 ～ 7 5		
2 2	保 険 証 回 収	添付	数字	0 ～ 2	保険証を回収した枚数を「添付」、回収できなかった枚数を「返不能」に設定する なお、該当しない項目は省略する	㊧
2 3		返不能	数字	0 ～ 2		㊨
2 4	7 0 歳 不 該 当 情 報	70歳不該当	文字	0, 1	70歳以上被用者の場合に「1」を設定する	㊩
2 5		元号	数字	0, 1	以下の元号に対応する数字を設定する ・ 平成：「7」 ・ 令和：「9」	㊪
2 6		年月日	数字	0, 6	不該当年月日（和暦）を年、月、日それぞれ2文字で設定する （例）令和1年10月31日の場合、 「011031」と設定する ・ 70歳以上被用者不該当年月日は退職または死亡した年月日の当日を設定する	㊫
2 7	70歳以上被用者 届のみ提出		数字	0, 1	70歳以上被用者不該当届のみを提出する場合は「1」を設定する。 ただし、「全国健康保険協会管掌事業所に勤務する75歳以上の被用者」又は「健康保険組合管掌事業所に勤務する70歳以上の被用者」が死亡を原因として届出を行う場合は省略する。 ※当該項目を設定した場合、70歳不該当及び不該当年月日への設定は必須となる ※協会管掌健康保険の事業所で75歳以上の後期高齢者医療制度の対象者は必須となる	㊬